



くらしの情報

「政府機関等地方移転推進フォーラム」に参加して

今年8月22日、関西広域連合主催により、グランフロント大阪で、「政府機関等地方移転推進フォーラム」が開催され、徳島県消費者協会からも安田会長をはじめ、約40名の会員が参加しました。

フォーラムでは、政府関係機関移転に関する有識者懇談会座長である増田寛也氏の基調講演や、政府機関関係者の取組発表及びパネルディスカッションがありました。

政府機関関係者の取組発表では、消費者行政新未来創造オフィスの日下部参事官から徳島県と連携して実施している「若年者向け消費者教育」や、SDGsを見据えた「エシカル消費の普及」などのプロジェクトの成果についての発表がありました。

パネルディスカッションでは、徳島県から四国大学の松重学長がコーディネーターとして、また、飯泉知事がパネリストとして参加し、消費者庁の



消費者行政新未来創造オフィスが徳島県に開設して1年が経過する中、「政府機関等の地方移転が関西にもたらすもの」をテーマに意見交換が行われました。

その中で、飯泉知事から関西の経済界に対して、徳島県における取組への協力を呼び掛けたところ、村尾関西経済連合会副会長をはじめパネリストの皆さんから、消費者庁の徳島移転を応援する力強い声をいただき、移転推進の「機運の高まり」を我々参加者も実感したところです。

来年度は、国において「消費者庁の徳島移転の方向性」が決定する年です。

徳島県消費者協会としても、消費者庁の徳島移転の実現に向け、徳島県と連携して、消費者行政の発展に係わる各種活動に積極的に取り組んで参りたいと考えていますので、会員の皆様のご協力、よろしくお願いたします。



発行 ● 特定非営利活動法人徳島県消費者協会

TEL (088) 625-8285(代) FAX (088) 625-8312 E-mail nposhouhi@eagle.ocn.ne.jp



南部地区

阿南市(羽ノ浦支部)

6月11日(月)37名の参加で京都方面へ研修旅行に出かけました。まず二条城を見学した後、西陣織会館で手織り体験をしました。A4用紙くらいのきれいな敷物ができました。西陣織の紹介や作品の展示もあり、日本の伝統文化のすばらしさにふれた気がしました。昼食後の嵐山散策は小雨の中でしたが、寺社や竹林を歩いたり買い物をしたりして、それぞれに楽しみました。またバスの中では、ビンゴゲームやガイドさんの楽しいおしゃべりで盛り上がり、親睦を深めた有意義な研修旅行でした。(田井 和子)



小松島市

「食品ロスを考えよう」

食べられるのに廃棄される食品ロスの削減に向け政府も基本計画を閣議決定しました。

国民一人当たり年約23キロを捨てているそうです。当協会は市民205名の協力アンケートを実施しました。主な内容として

- ①食品ロスを削減するためには→食べきれないだけ買う、まとめ買いをしないなど。
- ②捨ててしまう理由→買い過ぎや鮮度が落ちた、賞味期限切れなど。
- ③多く捨てる食品→野菜、果物、魚介類の順でした。

以上の結果ですが私達も食品ロス即ち「もったいない」を念頭に日々の生活を見直すことが大切だと思いました。(秦 恵美子)

牟岐町

南部地区消費者のつどいに牟岐町から9名が参加しました。

牟岐町からは、特産品としてかつお節・粉・天草と3Rとしてハギレやあまり布でリサイクルした布絵・小箱・ブックカバー・ティッシュ入れを販売しました。見に来てくださった方に使い方・作り方とかをお話ししたりして、たのしかったです。

活動発表では、民謡・ダンス・寸劇・調査研究

発表では、知ってるようで知らなかった事とかがあつてよかったです。昼からは、サーティグラスボーイズのコンサートと一緒に歌ったりして楽しかったです。記念講演「長生きの秘訣」では、健康に良いたくさんの食品の名が出てきました。上手にとり入れていけたらなと思いました。とてもたのしい一日でした。(野田 祐美)

東部地区

石井町

10月15日、フジグラン石井店で県警の方々と振込め詐欺防止キャンペーンを行いました。オレオレ詐欺も今もあるとか、皆んなが詐欺被害にあわないことを願いながらパンフレットや啓発グッズなどを配りました。

10月24日には食肉料理セミナーを開催しました。はじめに食肉生活衛生組合の方や栄養士さんから肉を摂取することの大切さや安全に食べるポイントなどのお話がありました。実習では、32名の参加者が4班に分かれ「ハヤシライス」「豚肉の甘酢漬け」を作りました。実習も和気藹藹楽しい一時でした。(梅岡 久恵)



藍住町

藍住町では11月4日藍ラブフェスティバルが行われます。我が消費者協会は、寸劇で参加する事になり只今特訓中です。題目は「健康食品の送りつけ」です。70歳の主婦が注文もしていない荷物を、家族の誰かが注文したものと思い、代引で受け取ってしまいました。家族が帰って誰も注文していない事がわかり、困惑した主婦は消費生活センターに相談しました。消費生活センターのアドバイスでクーリングオフの手続きが行われ、無事主婦のもとに代金は戻ってきましたが、身に覚えのない荷物が届いたり、電話がかかってきた時にはキッパリ断わる勇気も大切だとこの寸劇を通して感じました。11月4日に行われる藍ラブフェスティバルには、若い人から年配の方まで幅広く訪れますので、この寸劇を見て少しでも被害に合う人が少なくなればと思っています。(正木 寿枝)

徳島広域

私達の会は県内各地より参加。2ヶ月に1回の例会の時に学びの

講座を1時間。その他の会で得た事を全員に広め、より良い消費者を目指している。今年は紙の話・大規模災害に備えて・自分を大切に・など学んだ後ランチ会で相互の交流を楽しんでいる。年2回の遠足を計画、春は大阪の明治ヨーグルト館へ行き健康への効果を学び、仁徳天皇陵古墳・千利休屋敷跡へ行き、秋は京都の岩倉実相院門跡や丸久小山園慎島工場（抹茶工場）見学をして知識を深める予定です。（西岡 節子）



西部地区

美馬市

ノー・フードロスチャレンジ！ 美馬

10月7日、県立西部防災館において食品ロス削減に向けた取組について、心が楽になるお片付けの話、エコクッキング教室等が開催されました。食品ロスの半分は家庭から、年間1人当たりの食品ロスは51kgときいてびっくり！使いきれ的分だけ買うよう心がけましょう。毎年恒例の、振り込め詐欺防止キャンペーン、マイバックキャンペーン、西部消費者のつどい視察研修、牛乳料理、老体に鞭打って頑張っています。若人の勧誘もままならぬ現状、頭を悩ましております。（重本 郁子）



減と節約を叶える
「お片付け」のおまじない

上勝町

上勝町では特産物のゆこうの収穫時期です。去る15日に振り込み詐欺予防のキャンペーンを行ないました。正木集荷所、JAキャッシュコーナーの前にて警察の方と会員3名で啓発グッズを配布し予防を呼びかけました。警察の方がいるとなお一層緊張感もあり笑顔で対応して下さいました。電子メール、携帯電話等を使つての架空請求が増えているので気をつけたいです。12月にはマイバック持参のキャンペーンがあります。我家町の商店でもレジ袋不要の方にはポイントが加算され貯まると点数に応じた品物を渡す取り組みをしています。それをやっていない店でもレジ袋いりませんという町民が増えつつあります。キャンペーンの効果が出ることを願っています。（井岡五十恵）

を願っています。

（井岡五十恵）

東みよし町

私達、東みよし町消費者協会は、7月20日、三好市にある広域連合、リサイクルプラザ、また清掃センターへ研修に行ってきました。それぞれの箇所を実際に見学し、係の方の説明を聞きながら回りました。大量の燃えるゴミを手作業で仕分けしたり、本来分別されているはずの不燃物に混ざったいろいろな物を取り除いたり、大変な作業を行っているのを見学しました。日頃ゴミの分別には気を付けておりますが、更に細かいチェックが必要との思いを、参加した方と話し合いながら、帰ってきました。（元木理津子）



つるぎ町

つるぎ町消費者協会では、2018年5月23日に高知市への一日研修を実施しました。

バス旅行ということで車内でのおしゃべりも弾み、「紙の博物館」での和紙すき体験を行い、昼食にはかつお船での本場高知のカツオのたたき定食を食べて、「西島園芸団地」でたくさんの植物やおいしい果実に触れ、会員同士の親睦が深まった楽しい一日となりました。

10月15日の年金支給日には、町内4か所の金融機関前で警察の方々と共に「振り込め詐欺に気を付けて！」との声かけのもと、啓発グッズを配りました。身近に出来る消費者活動を会員みんなで考え、今後も協力して実施していきたいと思えます。（松浦 陽子）

北部地区

松茂町

平成30年10月15日、午前10時からキョーエイ松茂店前にて、警察・行政・消費者協会の方々と、県下一斉振り込め詐欺防止キャンペーンを行いました。

「悪質商法にご用心」タオルやパンフレットを配布しました。



皆さん年金支給日で忙しい中にも、足を止めて聞いて下さいました。

これからも、消費トラブルのない町を目指して、啓発活動を続けたいと思っています。

（谷 昭子）

